

第3回基山町まち・ひと・しごと創生推進会議

(要点筆記)

日 時：平成27年10月5日（月）10時00分～12時10分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：13人

平瀬有人副会長

永家重光、田口英信、原憲一、内山順子、芳野勇一郎、柴田廣孝

渡邊透、村瀬登、森栄利、田中光一、松田一也

欠席委員：2人

森田昌嗣会長、實松尊徳

事務局：2人

総務企画課：酒井課長、下川

傍聴者：2人

1 開会

2 議事

(1) 基山町人口ビジョン（案）について

(2) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

(3) その他

3 町長あいさつ

事務局進行

1 開会

省略

2 議事

(1) 基山町人口ビジョン（案）について

事務局より説明

－質問等－

- ・基山町の人口推計が2025年の人口の18,000人がピークとなり、それ以降は人口減少となっている。2025年以降には人口増施策は行わないということか。
⇒2025年まで住宅政策を行い、2025年以降は空き家対策等の施策を行うことを想定している。
- ・空き家対策については、区長が空き家の報告を行い、まちづくり課に報告しているが、調査結果を基に来年度以降から動き始めるということではないのか。
⇒空き家対策については今年度から行う。人口推計については、シミュレーション2、シミュレーション3に近づけていけるよう努力していく。
- ・人口の自然動態について、2001年に転入者が増加しているが、何か原因について、特定できたか。
⇒原因としては、その辺りに開発が特定のあったということではなかったもので、何かの原因によって、基山町でなく近隣の市町村の影響によっても増えた可能性はあるかと思う。原因についてははっきり特定できない。
- ・20年程前であれば、けやき台の開発が行われているが、14年くらい何か開発が行われてかどうか、知りたかった。
⇒ワンルームのアパート等が建築された可能性があるかと考えられる。

(2) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

事務局より説明

【①基山町における新たな雇用を創出する】

－質問等－

- ・創業支援プロジェクトについて、ぜひ創業支援計画の認定等も取りながら、国の支援施策を上手く活用して支援していただきたい。
⇒創業支援計画については、基山町においても創業支援計画等を策定して、国の支援施策を活用して支援をしていきたい。
- ・特産品の販路拡大プロジェクトについて、新規販路開拓数は5年間で累計10件だと思うが、販路開発先としてどういう所を想定していくのかを伺いたい。また、基山町の統一したブランドイメージということで、ブランディングしていると思うが、観光と食ということが密接に繋がってくると思うので、基

山のブランディングということをご検討いただきたい。

⇒販路先については、これから産業振興課のほうでも開拓して、基山町の特産物の販売をしていかないといけないと考えている。また、宅配等サービスを拡張しながらやっていかなければならない。

⇒補足であるが、前回アドバイスいただいた「ふるさと名物応援宣言」を、10月1日に行った。全国10番目、九州で2番目、佐賀県で初ということでテーマは「エミュー」にしている。11月には基肄城や大興善寺をテーマとした観光での応援宣言を予定している。ふるさと納税も10月1日から拡充しており、これまで39品目だったが、56品目に増やしている。最後に、新規販路開拓先については、基山の周辺の企業もしくは介護施設等の事業者を考えている。また、観光事業として、スマートフォンにアプリを入れた方に対して、町内の22か所から情報がスマートフォンに発信されてくるように検討している。今後観光に上手く利用して、商店街、商工会などと連携していきながら観光と有効化を図っていきたいと考えている。

【②基山町を通過点から交流拠点へ】

—質問等—

- ・基肄城へ案内板や駐車場に対してさらに拡充するような計画はあるか。
⇒基肄城の駐車場についての拡大の計画についてはない。案内板については「観光案内の見える化プロジェクト」ということで、観光の拠点については看板の設置について取り組んでいく。
- ・古代山城サミットで上演された「こころつないで」の劇が素晴らしいものになっている。今後、観光面でも活用していく計画はあるのか。
⇒「こころつないで」の劇については、関係者等協議して来年度以降どうするかを考えていきたい。
- ・10月3日に開催した麺フェスタも全て完売したくさんの方々にお越しいただいた。体育館の中で行われたの「九州プロレス」も、500人近く集まった。今後も、商工会と町が協力し、いろいろなイベントを催し、人を集めPRをしていきたい。観光協会の会長という立場で言わせてもらおうと、観光資源を有効活用できていない。特に、大興善寺は、つつじ、紅葉の時期に数万人という来場者があるのに、物販販売等も含めて商工会の関わりが少ない。今後は、もう少し活用の幅を広げていかないといけないと考えている。基肄城に関しては、草スキーの貸し出しで年間80万円位のお金が入ってくる。これだけの貸し出しが行われているので、その人たちのルートの分析をしないといけない。教育委員会の「こころつないで」は、今年の12月5日に大野城市での講演が最後の講演になる。町からのサポート、学校側のサポートも必要になり、負担を考えて、一回休止することになった。この文化を残していきたいし、復活できればと考えている。そのときは、ぜひ支援をお願いしたい。

- ・第5回の山城サミットの関係で、ボランティアガイドの方が水門と基山山頂を案内された。初めてであったが、先ずは成功したと思う。観光の面から、今後も、基山町の水門と基肆城の跡を案内するだけでなく、大興善寺をはじめいろいろな観光名所を案内するような場所を広げてもらい継続してもらいたい。
⇒ボランティアガイドについては、「自然と歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくり」の中で、ガイド育成も行っていくということで、ボランティアガイドを増やして、5年後には50人くらいとKPIを定めている。大興善寺も観光地であり、文化財でもあるので、ボランティアガイドの養成を図りまちづくりに生かしていくことを考えている。
- ・貸スキーについては、土日に行っており、平日については、社協のほうで貸し出しをしている。また、保育園や学校等、団体の注文が平日にあったら臨時的に山に登るようにしている。看板については、途中で「あと何キロで駐車場」といったような看板が1つあると安心して登ってこられるかを感じる。
- ・つつじの時期のJRウォーキングでは、レンゲ畑のところで、レンゲを摘んで遊んだり、写真撮りをしたりして良かったという声を聞いたことがある。大興善寺に行くまでの道のりで、道路の両側にレンゲ草畑があると、名所になるのではないかと思う。個人の所有地ということで難しいかもしれないが、もし作っていいという所があった時に、レンゲの種の補助というのはあるのか。
⇒レンゲを作れば、窒素分が増えるので肥料はいるが、種ができるまで遅くまで放っておくと、今度は耕すのが難しくなる。今のところ補助については行っていない。
- ・JRウォーキングに関連して、基山町としてエミューをPRするために、ウォーキングの経路の中でエミューが放牧されている姿をどこかで見れるようにできないか。
⇒ふれあいフェスタで、エミューを見せることができないかと考えている。
- ・ふれあいフェスタの時にサンプル的に試食ができれば良いのではないか。
⇒試食ができるように出来ないか業者と交渉をしている。
- ・基山だけでなく自治体ではチラシやポスターの統一がされていない。例えば、基肆カラーで色を決めるとか、ブランディングデザイナーを設置し意見を聞いてから発注するという仕組みができれば、町のイメージが強く伝わるのではないか。

【③子どもを育てたくなる基山をめざして】

—質問等—

- ・子育て支援策などにおいて基山町をPRするために、周辺の自治体より特徴的な施策をPRした方が良いのではないか。
⇒①中学生までは医療費が完全無料②一番上の子が小学校3年まで、3人目は保育料無料③放課後児童クラブの充実④特別支援学級の充実、この4点

を現時点ではPRできる。

- ・子供の力が弱くなっていると思うが、基山町でエミューを通しての大切さを知るということができないか。

⇒命の大切さについて、考えていかないといけないと考える。

- ・ALTについて、ネイティブの英語は話せる人を使ってほしい。東明館、立命館の流れから大分のAPUの留学生を基山に引っ張ってくることも、副町長に検討していただいている。また、放課後授業も成果が出てきている。

⇒子どものころから、英語に親しむというのは重要である。ALTの充実や教材の充実、また、高校生の留学性の受け入れや海外からのホームステイ等、日常を英語で話すという環境を基山で作れないか。

⇒APUとの交流は現在進んでいるが、更に重層的な交流を考えたい。

【④安心と安全をベースに新しい協働のまちづくりを実現する】

—質問等—

- ・防災に関して、避難所に表示板の設置をしてほしい。

⇒避難所の表示板については今年度の予算で計上しているので、指定避難所には看板の設置を考えている。

- ・空き家バンク、コーディネーターや協議会の現状と今後の予定を教えてください。

⇒空き家バンクについては、今年度実態調査を行い、すぐにでも進めていく。

- ・森林荒廃や担い手減少についての記載については、具体的な施策も記載されていないので、検討いただきたい。

⇒検討を行う。

【⑤自然と歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくり】

—質問等—

- ・町内にある天神社と、大宰府、高良山、水門に縁があるので、整備して欲しい。

⇒神社プロジェクトを間もなく開始する。大興善寺他、有識者を入れて、万葉集、日本書記、伝説等深い話をストーリー化しようということをはじめ。

【⑥高齢者・障がい者（児）にやさしいユニバーサルなまちづくり】

—質問等—

- ・買い物弱者に対して、2業者が頑張っている。社協の事業としてもやっていただきたい。

- ・相談者がワンストップで相談できるような所を、行政のなかに盛り込んでほしい。

⇒ワンストップは大切に、色々な事に言えるが、まずは障がいの分野を中心にやっていくべきだと考えている。

(3) その他

- ・(第4回) 日時：平成28年3月予定
場所：基山町役場4階大会議室
- ・まちづくり課より講演会についての案内

3 町長あいさつ

省略